

2020
冬号
No.83

ほ な み
穂 濤
For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稲門会
発行人 内 田 進
穂 濤 編 集 委 員 会

コロナに負けない活動を模索!

2021年度に向けて

藤沢稲門会

会長 内 田 進



2020年はオリンピックキヤーとして、大いに盛り上がる年になると期待しておりましたが、突然降って湧いた世界的なコロナ感染問題で、様変わりの状況になってしまいました。

藤沢稲門会におきましても、大学および校友会の自粛方針に基づき、一部同好会活動を除き、結果的には、本年3月以降、予定していたすべての行事や活動を中止することになりました。未曾有の事態におきまして、まずは会員皆様の健康と安全を第一義にしたいと決断した次第です。

コロナ感染問題は、まだまだ収束の見通しが立たない状況が続いております。多数の会員の皆様が一堂に参集し、楽しく語り合い、大きな声で「都の西北」を歌うことも、引き続き自粛しなければなりません。「年次総会」をはじめ、皆様がお楽しみにされてきた「箱根駅伝応援」「新春の集い」「地引網」「忘年会」など、従来からの行事は三密防止の観点から、誠に残念ながら、事態が収拾するまでは、見合わせざるを得ないところは

です。一方、新しい年度に向けて、各委員長、幹事諸氏には、コロナとの共生時代において、会としての活動や役割を維持できるような新たな企画や運営について鋭意検討してもらっております。以上につき、ご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い致します。

新たな行事企画をめざして
行事企画運営委員会

委員長 笹 井 修 一



大勢集まって飲んで高らかに校歌斉唱、稲門会の醍醐味ここにあり、ですが、それがコロナ禍で全面ストップ。飲み会が中心の行事企画については、これまでも一部の方よりいかなものかの声もありました。

コロナ感染終息の目処がつかない今こそ、行事見直しの良い機会ではないかと思えます。女性委員会が進めているプチイベントは、酒量も少なく、フルート演奏など文化の香りが高く感じられます。藤稲懇話会では、時宜を得た電子マネーの講座が行われ、新しい知識の吸収に役立ちました。三密と成らない戸外でのボランティア活動へのご要望も出ています。平成卒の若手会員が増えてきて

いる昨今、新たな活動の端緒をつかみたいと知恵を絞っているところ。地域社会、大学とのつながりもつねに忘れず、心豊かな人生を楽しむ、そんな行事企画を提案してゆきたいと考えています。「現世を忘れぬ」早稲田の卒業生です。

来年度の活動に向けて
女性委員会

委員長 佐 藤 順 子



女性委員会は、女性校友相互の親睦を深めることと、県下他稲門会女性の会との交流に努めることを活動方針とし、現在10名の委員でイベントの企画・運営に携わっております。

2016年に「女性校友プチ懇親会」を立ち上げて以来、昨年は食事会のみならず校友が経営するデイサービス施設において懐かしい昭和の愛唱歌を歌いながら、学生時代の思い出に花を咲かせたり、「ミニフルートコンサート・ランチ会」では他稲門会女性校友をお招きし交流を深めることができました。

現在は残念ながら活動休止状態ですが、来年度の活動再開に向け、会員親睦の橋渡し役として新たな企画を検討して参ります。コロナ禍の一日も早い収束を願い、会員の皆様と憂いなく笑顔で再会でき

ますよう祈念しております。
更なる会員増強を
組織拡大活性化委員会
委員長 庄 司 修



藤沢稲門会健全運営の為に目標会員数は、450名です。10月末現在で452名と何とか目標をクリアしています。今後、会費未納者の数名の退会があること、新春の箱根駅伝での応援自粛により会員勧誘ができないことを考慮すると、新年度の会員増強に向けて会員の皆様方のこれまで以上のご協力をお願いします。

また、コロナ禍での新しい同好会活動を模索し、「グーグルグループ」というSNS上での交流サイト「業際カフェ」を開設し、お仕事現役会員向けにお試し運用中ですが、新年度は、メンバーを増やしながら盛り上げてまいりますのでご参加ください。

穂濤の適宜発行

広報委員会

委員長 舛 岡 健



会員の皆様は新型コロナウイルス感染防止対策で従来とは違った日々をお過ごしと存じます。穂濤は総会等で申し上げますが、稲

穂 濤

コロナに負けないうちの同好会

門会活動を会員の皆様へ伝え、活動への参加、情報の共有を主な目的として編集しております。

本年2月の総会以降、本年度の校友会、藤沢稲門会の活動が中止され、各同好会活動も一部を除き、自粛中と聞いています。お伝えする活動が無く、5月以降穂濤の発行が出来ませんでした。皆様には事情をご賢察の上、ご理解を賜り

度存じます。

今回令和3年度を迎え、最小限お伝えしなければならぬ事項を本号に掲載しました。来年の総会の決議内容を始め、開催された場合の各活動・予定等を掲載した穂濤の発行を計画致します。その為従来の発行日とは違うこととなりますが、重ねて宜しくお願い申し上げます。

藤瀬言葉遊びの会

新型コロナウイルスは、同好会活動にも制約を強いています。その中で、前向きにコロナ共生を実践する『言葉遊びの会』を紹介します。

会長は芥川賞作家の宮原昭夫先生、世話人は三瀧信道氏で藤瀬を詠った『かるた百題』を全ての句を会員の自作で完成させた同好会です。月一回の例会では俳句・短歌に限らず、都都逸、回文等色々な言葉遊びを皆で作りに上げ、経験の有無や出身学部に関係なく楽しんでいきます。作品を軸にした学びの楽しさは某人気番組を間違いないく凌駕しているのかと。

今年も新年例会後、緊急事態宣言で活動停止を余儀なくされましたが、対人での相互研鑽は必要不可欠で、解除後三密を避け物理的距離の確保・アルコール消毒・マスク着用・検温等感染対策を充分



三密を避けてマスク着用！

に講じた上で6月に活動再開をし、楽しさを取戻しています。対策継続は大変ですが、慣れれば普通になります。

遊びは学び。知らない自分発見と一緒に、気楽に言葉遊びを紹介して実現いたしましょう。

稲門祭記念品販売実績

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度稲門祭は開催中止となりました。しかしながら、稲門祭の大きな目的の一つである奨学金寄付のため、記念品の販売は継続しております。ご購入いただいた稲門祭記念品の収益は、学生の経済的支援に活用させていただきます。なお、福引抽選券については、2021稲門祭で投函可能とする予定です。

① 2020年度 実績

- ・購買件数 会員33名
- ・内訳 (幹事22名/一般会員11名)
- ・販売金額 278,000円



(注)撤廃されましたが、当初の販売目標額は昨年同様120,000円でした。

② 2019年度 実績

- ・購買件数 会員28名
- ・内訳 (幹事21名/一般会員7名)
- ・販売金額 156,000円
- ・販売目標額 120,000円
- ・達成率 130%



本年度の最終数値は県支部からの連絡未受領なので未確定。皆様のコロナに負けないうちの協力に感謝いたします。

行事予定

- 忘年会 中止
- 箱根駅伝応援 中止
- 定時総会・新春のつどい 中止
- ※書面総会の予定
- 2021 神奈川県支部大会 中止
- 日時・11月6日(土)
- 主管・藤沢稲門会

入会希望の方は、幹事(三瀧信道・小泉英春・田中雄一・坂本明日香)宛にご連絡下さい。

連絡先

w:fujisawa@crocus.ocn.ne.jp
神藤利路(昭和51・商学)

編集委員長 舛岡 健
編集委員 高野尚志・中野正一
山口金雄・山下扶佐子